

働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう

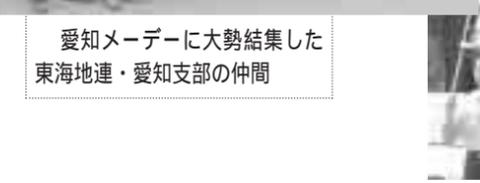
第76回 Xデー



東京・代々木で行われた中央メーデー。全国税本部はプラカードで「増税反対」をアピール(上)。東京地連はオリジナル横断幕で平和を訴えた(左)



宮城メーデーでデモ行進する東北地連・宮城支部



愛知メーデーに大勢結集した東海地連・愛知支部の仲間



富山メーデー(上)、福井メーデー(左)にそれぞれ参加した北陸地連の仲間



新潟メーデーで先頭に立ってデモ行進する新潟支部の仲間
「委員長の団結ガンパロー！」で解散。デモ行進の後はやっぱり...!(全国共通)

全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内(〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 松岡 弘文
電話(03)3581-3678
FAX(03)3507-0886
振替口座 00140-2-68514

“非常識追放”
110番
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場からセクハラやイジメなどの非常識をなくすため、「非常識追放」を常時設置してあります(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

信頼できる仲間と魅力ある職場に！
全国税にはいろいろ

業務確保の対策徹底を

悩み大きい運転手 冷たい仕打ちに憤り

運転手の署長送迎業務が全国的に廃止されてから1年。定期的な業務を奪われた形になって、運転手の多くが悩みを深めています。

現場当局の心無い「仕打ち」もあり、少ない人が心身症になったり、退職すべきかどうか悩む日々をすごしています。

署長送迎廃止以降、調査・徴収など外部事務での活用、郵便物等の運搬、各種行事での活用など、「運転業務を確保せよ」と庁当局も指示していますが、署によって対応はバラバラです。小規模署などでは運転業務の確保に積極性が見られず、運転士さんを総務課の席に座らせ、窓口業務や総務の補助的業務を分擔させています。

慣れない仕事を強いられ、ちょっとした不満をいうと逆に補助業務を取り上げた署当局もあり、「いつ辞めてもいいんだ」とてもいいたげな当局の対応に、運転士たちは強い憤りを持っています。

調査等の送迎でも、その日暮らした使われ方で振り回され、運転士の働き甲斐や誇りが奪われる中で、心身ともに追い詰められているのが現状です。

全国税は、庁当局に対し、署当局への指導強化など具体的な対策をとるよう従来から求めています。

行革攻撃の直撃を受けている行(二)職のみならず、全国税に加入して仕事と生活を守り、仲間との連帯を広げてみませんか。

国民平和大行進

東京・夢の島を出発

5月6日、「核兵器も戦争もない世界のために、ともに歩こう」と、被爆60年・2005年原水爆禁止国民平和大行進が東京・江東区夢の島公園を約9000人で出発しました。

当日はあいにくの曇空で夕方からは雨も降り出しましたが、東京地連の仲間も、メーデーで登場した「今こそたたかいたの鬼とならん」の横断幕を掲げながら港区役所前までの約13キロを歩きました。行進は8月4日に広島に到着する予定です。

そろばん

4月28日の『国税広報』健康づくり月間特集号では、国税庁の村上次長が自身の体験も赤裸々に「禁煙のすすめ」を説いている。内容は「禁煙はそれほど難しくはありませぬ」と自らの禁煙法を紹介しつつ、結局は「自分の健康は自分で管理すべし」との自己責任論である。いま職場では、身体面の健康もさることながら、少なくとも職員が心の健康を維持できなくなっている。原因は様々であるが、歪んだ職場環境や仕事の厳しさに無関係だとは到底思えない。こつした現実には正面から対処せず、上っ面で「健康づくり月間」とは虚しい「職員の健康最優先」の立場で抜本的な対策を掲げ、真摯に実行する姿勢を持った幹部の話こそ掲載されるべきだろう。

詰将棋

「中級クラス」
出題 九段 西村一義
ヒント 角の活用がポイント。10分初段。

持駒 角桂歩歩
一三二四五六

6	5	4	3	2	1
金	金	王	将		

『国税広報』健康づくり月間特集号では、国税庁の村上次長が自身の体験も赤裸々に「禁煙のすすめ」を説いている。内容は「禁煙はそれほど難しくはありませぬ」と自らの禁煙法を紹介しつつ、結局は「自分の健康は自分で管理すべし」との自己責任論である。いま職場では、身体面の健康もさることながら、少なくとも職員が心の健康を維持できなくなっている。原因は様々であるが、歪んだ職場環境や仕事の厳しさに無関係だとは到底思えない。こつした現実には正面から対処せず、上っ面で「健康づくり月間」とは虚しい「職員の健康最優先」の立場で抜本的な対策を掲げ、真摯に実行する姿勢を持った幹部の話こそ掲載されるべきだろう。

人員削減+事務量増加+未払超勤

所得税部門、特に常務など内部事務担当では、現在でも長時間に及ぶ超勤を強いられています。

国税庁が強力に押し進めている「調査接触率向上」による事務運営がこれに拍車をかけています。調査を優先させるために内部事務担当者ギリギリ以上にまで減らしているため、日中

国税庁の業務とシステム見直しの裏に、政府が各府省に指示した「業務・システムの最適化計画」があることをシリーズ「1」で紹介しました。

定員増加の困難化
申告者数の増加
課税・徴収事案の複雑、困難化
国税の職場環境の変化
(女性職員・子育て中の職員の増加、若手職員の意識変化)

分で書いて提出してもらって、税理士は納税者を「良い子」にしてもらって、一方、税務当局は悪い納税者をたたく調査・徴収業務に特化して総動員体制で対応したいということです。

【近畿・京都支部】
確定申告の相談会場で「横の人から覗き込まれた」とクレームがあった。当局は「希望者には仕切り版をする」との張り紙をしようとしたが、職員は「まずまず混乱するからやめて」と反応。プライバシーを保護するためには、確定申告の最初から仕切り版にすべきなのに、巡回方式で納税者を大量に入れるために仕切りをしなかった当局の姿勢が問題である。さいきん、親切に教えてもらえないからか、隣の人がどのように申告書を書いているのか覗き込む納税者が増えていくように...

【北海道德連】
確定申告の未納者に対して納付しようとする文書を送付する時期になると、管理・徴収職員は納税者からの苦情処理に四苦八苦。今年はその数もさることながら、苦情の内容が問題。ほとんどが「申告に行っても何も教えられなかったじゃないか」というもので、中には「還付申告に行き、よく分からないまま提出したら単純なミスで納税になっていた。いま更正の手続きをし

このような状況となっている原因は様々ですが、直接的には、確定申告期での入力事務や還付事務で生じた処理の遅れが現在まで影響していると考えられます。通常、納税申告書よりも還付申告書のほうが処理手順が複雑であること、申告書作成指導が「巡回方式」に切り替わったことにより指導内容が希薄となり従来よりも誤り申告が増えていることなどが、周辺

さら問題なのは、長時間の超勤が行われているにもかかわらず、その大部分が「不払い超勤」

へ質・量ともに十分な人員を手当てして超勤を減らすとともに、実際に行われた超勤に対しては超勤手当を漏れなく全額支給することを直ちに求めます。

基本的方針としては「適正かつ公平な税務行政の推進」のために、税務当局、納税者、税理士の役割を再整理し、税務当局が担うべきものについては庁、局(問)、署(問)それぞれが果たすべき機能を再構築し、IT化に対応した事務の見直し、職員以外で実施可能な事務のアウトソーシング化を推進するとしています。

意味するところは何か
庁の基本方針の意味するところを平たくいうと、納税者は自ら

【東海・名古屋西分會】
「印鑑貸してくれ」と言って超勤命令簿など管理者が勝手に印鑑押しているけれど、納税者には「内容を確認して、印鑑は自分で押してください」と指導している。
...イイノカナ?

【関信・新潟支部】
倒れる人がいてもお構いなしに話を続ける。署の実情にと言われても局にはNOと言えない。決済には説明文まで付けさせ、気に食わないものについては決済を先送りにする独善的な署長。
重曹では飾り物のふりしてサブに言わせ放題。職員からは指導力がない、管理能力がない、顔が見えない署長だとの声が出るほど。
多くの署で、昼休みの勤務時間割り振り、全面的な巡回指導について検討している中、いち早く行う必要はない、と判断したチヨットまともな署長。

予算がないで放置するな！ 超勤前提

は数多くの来署者や電話の対応に忙殺され、本来事務に取りかかれるのはやごと夕方になってからという状況が続いています。

「超勤は、臨時又は緊急の必要」がある場合(勤務時間法第13条)に限られることはいうまでもありません。超勤を前提としない事務計画、人員の配置を徹底し、超勤を極力減らす義務が当局には課せられています。にもかかわらず現実には超勤なくして事務が処理できないのが実態です。その実績通り「超勤手当」を支払うことが当局の最低限の責務なのです。

内部要員を外部へ
調査・徴収に総動員

「適正かつ公平な税務行政の推進」のために、税務当局、納税者、税理士の役割を再整理し、税務当局が担うべきものについては庁、局(問)、署(問)それぞれが果たすべき機能を再構築し、IT化に対応した事務の見直し、職員以外で実施可能な事務のアウトソーシング化を推進するとしています。

【北海道德連】
確定申告の未納者に対して納付しようとする文書を送付する時期になると、管理・徴収職員は納税者からの苦情処理に四苦八苦。今年はその数もさることながら、苦情の内容が問題。ほとんどが「申告に行っても何も教えられなかったじゃないか」というもので、中には「還付申告に行き、よく分からないまま提出したら単純なミスで納税になっていた。いま更正の手続きをし

【東海・名古屋西分會】
「印鑑貸してくれ」と言って超勤命令簿など管理者が勝手に印鑑押しているけれど、納税者には「内容を確認して、印鑑は自分で押してください」と指導している。
...イイノカナ?



検証・「税制改革」、新段階における国民本位の税財政・税務行政

「税金2005」発売開始!

第44回税研全国集會・全記録

講演1「『構造改革』とワーキング・プアの増大」
～労働組合運動にいま求められるもの～ 都留文科大学教授 後藤道夫

講演2「平成17年度税制改革の特徴」 経済評論家 熊澤通夫

講演3「05確定申告と税務行政組織の変容」 全国税務行政委員長 岡田俊明

特別報告「変化する税務行政とその課題」 全国税務労働組合書記長 細川潔

分科会 税制一般 暮らしと税金 税務行政
資料・2005年度税制審議に関する申入書(全文)
・2005年度「税制改革の提言」-不公平税制は正による財源試算(抄)・日本の主な大企業の内部留保と優遇税制による減免税額について 他

【購読・お問合せ】組合員まで。あるいは「全国税本部」まで
【電話・FAX・Email】 いずれかで申し込みください

【北海道德連】
確定申告の未納者に対して納付しようとする文書を送付する時期になると、管理・徴収職員は納税者からの苦情処理に四苦八苦。今年はその数もさることながら、苦情の内容が問題。ほとんどが「申告に行っても何も教えられなかったじゃないか」というもので、中には「還付申告に行き、よく分からないまま提出したら単純なミスで納税になっていた。いま更正の手続きをし

【東海・名古屋西分會】
「印鑑貸してくれ」と言って超勤命令簿など管理者が勝手に印鑑押しているけれど、納税者には「内容を確認して、印鑑は自分で押してください」と指導している。
...イイノカナ?

【関信・新潟支部】
倒れる人がいてもお構いなしに話を続ける。署の実情にと言われても局にはNOと言えない。決済には説明文まで付けさせ、気に食わないものについては決済を先送りにする独善的な署長。
重曹では飾り物のふりしてサブに言わせ放題。職員からは指導力がない、管理能力がない、顔が見えない署長だとの声が出るほど。
多くの署で、昼休みの勤務時間割り振り、全面的な巡回指導について検討している中、いち早く行う必要はない、と判断したチヨットまともな署長。

【近畿・京都支部】
確定申告の相談会場で「横の人から覗き込まれた」とクレームがあった。当局は「希望者には仕切り版をする」との張り紙をしようとしたが、職員は「まずまず混乱するからやめて」と反応。プライバシーを保護するためには、確定申告の最初から仕切り版にすべきなのに、巡回方式で納税者を大量に入れるために仕切りをしなかった当局の姿勢が問題である。さいきん、親切に教えてもらえないからか、隣の人がどのように申告書を書いているのか覗き込む納税者が増えていくように...

【東海・名古屋西分會】
「印鑑貸してくれ」と言って超勤命令簿など管理者が勝手に印鑑押しているけれど、納税者には「内容を確認して、印鑑は自分で押してください」と指導している。
...イイノカナ?

【関信・新潟支部】
倒れる人がいてもお構いなしに話を続ける。署の実情にと言われても局にはNOと言えない。決済には説明文まで付けさせ、気に食わないものについては決済を先送りにする独善的な署長。
重曹では飾り物のふりしてサブに言わせ放題。職員からは指導力がない、管理能力がない、顔が見えない署長だとの声が出るほど。
多くの署で、昼休みの勤務時間割り振り、全面的な巡回指導について検討している中、いち早く行う必要はない、と判断したチヨットまともな署長。

【近畿・京都支部】
確定申告の相談会場で「横の人から覗き込まれた」とクレームがあった。当局は「希望者には仕切り版をする」との張り紙をしようとしたが、職員は「まずまず混乱するからやめて」と反応。プライバシーを保護するためには、確定申告の最初から仕切り版にすべきなのに、巡回方式で納税者を大量に入れるために仕切りをしなかった当局の姿勢が問題である。さいきん、親切に教えてもらえないからか、隣の人がどのように申告書を書いているのか覗き込む納税者が増えていくように...

【東海・名古屋西分會】
「印鑑貸してくれ」と言って超勤命令簿など管理者が勝手に印鑑押しているけれど、納税者には「内容を確認して、印鑑は自分で押してください」と指導している。
...イイノカナ?

【関信・新潟支部】
倒れる人がいてもお構いなしに話を続ける。署の実情にと言われても局にはNOと言えない。決済には説明文まで付けさせ、気に食わないものについては決済を先送りにする独善的な署長。
重曹では飾り物のふりしてサブに言わせ放題。職員からは指導力がない、管理能力がない、顔が見えない署長だとの声が出るほど。
多くの署で、昼休みの勤務時間割り振り、全面的な巡回指導について検討している中、いち早く行う必要はない、と判断したチヨットまともな署長。